

『良い知らせを伝える者のために』

吉田真司

使徒パウロは言います。「宣べ伝える人がなければ、どうして聞くことができよう。遣わされないで、どうして宣べ伝えることができよう。『良い知らせを伝える者の足は、なんと美しいことか』と書いてあるとおりです」(ローマ 10:14-15)と。

「私たちの教会を取り巻く現実は大変厳しく、世界的にも類を見ない少子高齢化による、信徒数の減少と献身者の減少、無牧師教会の増加といった課題に直面しています。全国のプロテスタント教会の約 15%が無牧師であり、牧師の 15%が 75 歳以上という現状です。」(東京バプテスト神学校 足立智幸理事長) ——これは今年度の神学校週間に合わせて作成されたリーフレット「日本バプテスト連盟 神学校週間によせて」にある一文です。

その最終頁には各学校で学ぶ神学生の一覧 (東京・九州神学校は専攻科生) が載っています。私の出身である西南学院大学神学部においては 7 名 (大学院生、神学コース学部生、選科生、リカレント生の総計) の一覧です (ちなみに、私が在学した 1990 年代は、その 3~4 倍の在学学生を数えていました)。この神学生数をどう受け止めるか、・・・昨年度の変化「神学校献金の用途拡大」(神学生奨学金に加え、東京・九州バプテスト神学校の運営資金として) の中で、今後の神学生の在籍数に関して各学校からその期待値が示され、西南神学部としては「10 名」が提示されました。神学校献金目標額 (全国で) の 2500 万円はその期待 (祈り) に基づく設定金額です。「但し、この状況では、神学生の毎年の卒業生が平均 2.5 名ということになってしまい、西南学院出身の牧師は 40 年間で 100 名の牧師しか生み出せないということになってしまい、牧師数が圧倒的に不足してしまいます。」(同リーフレット内「神学校献金への期待」北村慎二奨学金委員長)。 ——神学校週間に際して、現状とその課題を共に認識し、共に祈りを強めたく、上記の内容をご紹介しました。

共に覚え、共に祈り、共に献げ、共に支えましょう。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間 4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師: 吉田真司 音楽・子どもユース担当主事: 江原美歌子 協力牧師: 斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>